

選挙に行って、要求を実現し、政治を変えよう!!

茨城労連参議院選挙ニュース No.1 2022年5月12日

参議院選挙が6月22日(水)公示、7月10日(日)投開票で行われる予定です。

茨城県は2人区で、加藤昭良氏(自民党)、大内くみ子氏(共産党)、堂込麻紀子氏(連合・立憲民主・国民民主)、佐々木理加氏(茨城維新の会)が立候補を予定しています。

ウクライナに対するロシアの侵略を悪用して、自公政権・日本維新の会は核兵器共有や敵基地攻撃を主張し、軍事力強化を狙っています。私たちは、憲法9条に基づく平和外交と核兵器禁止条約の批准を求める運動を精力的に推進します。

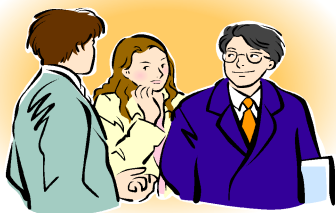
参議院選挙は、労働者や国民の要求を実現することが大きな目的であり、私たちの要求を実現できる政権を県民一体となって作り出していく必要があります。昨年の総選挙の教訓を踏まえ、市民と野党の共闘で要求運動を強化します。

そして、何よりも重要なのは労働者の要求と現在の政治の問題点について職場や執行委員会で語り合い、「選挙に行こう」と呼びかけあうことです。



茨城労連の参議院選挙要求

- ①茨城県の最低賃金を当面1000円以上に引き上げ、1500円をめざす。初任給を20万円以上に引き上げる。
- ②看護・介護・保育・学童等ケア労働者の大幅賃上げ。
- ③消費税を5%に削減し、大学授業料の半額、最低保障年金制度の確立。
- ④男女間の賃金格差を解消し、ジェンダー平等社会の実現。
- ⑤東海第二原発の再稼働を認めず、廃炉。



選挙に関するQ & A

(問)どの政党、候補者に入れたらいいのかわからないので、選挙に行きたくありません。

(答)選挙に行かない方は、非正規労働者だったり、低賃金のため長時間労働で働く労働者だったりします。忙しすぎて、選挙に行っていないという方が多いのではないのでしょうか。

しかし、自分の要求を実現し生活をよくするためには、自分の生活を困難にさせている原因をみんなで考え、自分の要求と公約が一致する政党や候補者に投票することです。

自分の要求を実現するための権利を、自分で投げ捨ててしまうことはやめましょう。選挙に行って、要求を実現して生活を改善しましょう。